

解答

- 一
- 問一 (1) イ (2) エ
- 問二 ウ
- 問三 ウ
- 問四 a 目 b 鳴く
- 問五 ア
- 問六 エ
- 問七 エ
- 問八 しっかりとした体つきで大工仕事や農作業を続けてきた人。
- 問九 エ
- 問十 むずかしい
- 問十一 ウ
- 問十二 曲がった釘を思い通りにまっすぐにすることができるようになった（ということ）。
- 問十三 オ
- 問十四 (1) （前の年は）なじみのない田舎生活にとまどい、家の人たちとも打ち解けることができずにさびしい思いをしつつ、ひいおじいさんといっしょにいそがしく仕事をしていたので、はとこたちと仲良くなる暇がなかっ（たが、今度は）はとこたちと仲良くなり、ひいおじいさんはもういなかったが、田舎での暮らしを心から楽しむことができ（た）。
- (2) 前の年に一度来て、ひいおじいさんとともに過ごしているので、一族の人たちとなじみやすく、セリヨージャが田舎の生活にとけこむことができたから。
- 二

- 問一 キヨシキ…挙式 スイシン…推進 フクリ…福利 仮想…かそう 担…にな〔う〕
- 問二 a エ b ア c オ d ウ
- 問三 はじめ…日本は人口 / おわり…なのです。
- 問四 ア
- 問五 はじめ…いまわたし / おわり…ています。
- 問六 イ、カ
- 問七 ④ イ ⑤ エ
- 問八 ウ

解説

一

問二 — ②の直後に着目します。母親の母である、髪にパーマをかけたおばあちゃんのきれいな顔を思い出している様子から、「自分のおばあちゃんのイメージとは違う」という記述を含む選択肢ウが選べます。本文には、遠く離れて暮らしていたひいおじいさんが、残りの短い時間をセリヨージャといっしょに過ごしている様子が描かれています。セリヨージャに仕事をあたえることで、田舎の暮らしになじみ、周囲にとけこめるように配慮しているおじいさんの様子から、「ひ弱な体をきたえ直したい」という記述を含む選択肢オは、あてはまらないことがわかります。

- 二
- 問五 「わたしたち動物は」で始まる段落に着目します。「いまわたしたちは水道をひねれば即座に水を得ることができ、それも安全に飲むことができる驚嘆すべき環境に暮らしています。」という記述があり、水を当たり前のように使って生活していることを言い表していることがわかるので、はじめの五字「いまわたし」と、終わりの五字「ています。」を答えます。

問八

本文の最後に着目します。二〇〇二年（平成一四年）に国連が定めた国際山岳年は、山地の環境保全および持続可能な開発を促進し、社会の福利を発展させることを目的としたものであり、山を日本だけではなく、地球規模で考えることも必要であると述べていることから、選択肢ウがあてはまらないことがわかります。